















御祭神 天智天皇

天智天皇 天智天皇

御祭神は第三十八代の天皇であられるが、
はじめる中大兄皇子と申上げ、今も古く約
千三百年の昔、大化改新の大業を完成さ
ばされ、我が国古代に於ける立国の体制を
確立せられ、雄大な建國の理想を實現さ
され、中興の英主であらせられる。
神界に坐しては、天命開別大神と稱え
られ、万物の運命開拓のことに司掌し終
る宝位につかれ、吾等を運命の開拓をほ
じめ、明治維新の大業も、現代の目覚め
しい文化的飛躍も、その聖助によること
ろと敬慕して、世直しの大神と開運の
大神と信仰されてゐる。
又小倉百人一首の、秋の田の御製で
昔から国民に親しまれ、宇田の神、知
恵の神と崇められると共に、御在世の
時初めて満刻台を置き、時刻を国民と
知せしめられた御事蹟により、時計関係
の祖神と仰おれられている。
当神宮はその御聖徳を敬仰する県民
度の請願が發端となり、古幣大社として
昭和十五年十一月七日御鎮座になり、爾来
例祭は毎年四月廿日勅使御参向のもと
に嚴修されて今日に至る。

近江神宮





平成
22
年
11
月

近江神宮
御鎮座
七十年祭

十一月七日
午前十一時開始

十一月廿五日
近江神宮流鏝馬

近江神宮
御鎮座
七十年祭





近江神宮御鎮座
七十年祭
記念事業実行委員会

新しき光













山梨県市
静雄様

河村昭三様

日本菊花芸術協会

三等



